

有限会社吉成印刷

北関東初!「箔押し」対応のラベル・パッケージの試作 および小ロット制作システムの構築

事業の背景・目的

今回弊社で取り組んだ事業は、2020 年のオリンピック、栃木県のフードバレー構想の背景の下、より「個」に向けた企画商品の必要性に対応するものである。

昨今ラベル・パッケージにおいてクライアントからは、オリジナルかつ小ロットでの要望が多く、実際の商品の販売の現場では、多くの商品が並ぶ中、商品をいかに目立たせ、購入者の目に留められるかが大きな課題となっている。また、栃木県という観光に力を注ぐ環境においては、海外からのお客様も多く、「日本ブランド」を強く印象づける和風テイストのデザインが必要だと考える。日本的なデザインを検討した際、伝統的な金銀の和的な色の使用が有効と考えた。しかし、実際に、「箔押し」を使用したラベル・パッケージを作成するには時間もコストもかかり、気軽に使用することがこれまで不可能であった。

今回の事業で、日本の地の利を活かした名産品や、お土産、そして日本人の細やかな気質を活かして丁寧に作られた「Made in Japan」ブランドの商品として、差別化を図り注目を集めていきたい。

事業内容と成果

①本事業における試作開発での工程改善とコスト削減

導入前までは、ラベル・パッケージに箔押しデザインを施す場合、箔押し専門業者への外注が必要であった。そのため、少なくとも印刷～箔押しまで 10 日間程度かかっていた。また、完成品に近い状態でのサンプル制作は、版下製造・印刷・プレスの工程が必要であり、コスト・作業時間がかかることから、お客様が完成イメージを確認することなく、製造に入ることが通常だった。さらに、箔押しはプレス印刷のため大きな面積に対応することが難しかった。

今回、富士ゼロックスとの連携・商品開発により、本システムを導入することで、ラベル・パッケージの小ロット生産、サンプル製作はもちろん、バリエーションでの箔押し加工製品の販売が可能になった。

また、製造工程の大幅な合理化が図れ、1 枚からの試作品作成および小ロット生産が可能になる。コストにおいては事業計画時に算出した際のコストとほぼ変わらず作成することができた。

・試作品1枚A4サイズ1枚作成の
場合のコスト比較（概算）

【従来】

「箔押し」で必要な版下製造・印刷・
プレスでの工程でのコスト

<片面カラーに箔押し 100 cm²・1
枚を作成する場合>

オフセット印刷：¥20,000

箔押し基本料金：¥12,000

プレス：¥10/1 枚

合計：¥32,010/1 枚

【本システムの導入後】

<片面カラーに箔押しA4 全面・1
枚を作成する場合>

オンデマンド印刷：¥30/1 枚

箔押し料金：¥40/1 枚

合計：¥70/1 枚

（1 枚からの作成が可能）

小ロット生産の場合

	1枚	5枚	50枚	100枚	500枚
従来の製法	32,010円	32,050円	32,500円	33,000円	37,000円
新規システム	70円	350円	3,500円	7,000円	32,500円
コスト低減率	99.8%	98.9%	89.2%	78.8%	12.1%

なお、新たな生産方法として、
既存所有の「インクジェットプリン
ター」で印刷後、「富士ゼロックス
Versant 2100 Press」による

オンデマンド印刷、「ダイニック
DC-1」で箔押しをすることで、デ
ザインの幅を広げることができた。



インクジェットで下地の黒・赤を印刷後、
オンデマンド印刷、箔の転写をおこなったもの。
小ロットの生産が可能なので、クライアントの
商品開発の一役を担うことができる。



いままでコストがかかるため、名刺での
箔押しはロゴ程度とされてきたが、
本システムの導入により、名刺での作成も
気軽におこなえる。



箔押しラベル

②委託によるデザインの向上

今回はラベル・パッケージの試作開発で、文星芸術大学と産学連携での共同研究を委託業務として契約を結んだ。本システムを使用するための試作品を学生がデザイン、当社がクライアントに提案するといった関係が生まれた。

右記の写真は文星芸術大学の試作品となる。

弊社において、文星芸術大学の卒業生を社員として本年より1名採用。本事業のデザイン担当としても関わっている。



今後の展望

①フードバレーとちぎ事業構想において産業振興センターとの連携を密にし、会員企業への販路開拓を行う。箔押しを利用した高級イメージのジャパンパッケージの提案により中小規模事業所等の海外向け商品のパッケージ作製・小ロット商品の対応で差別化を目指すことにより、新規顧客の獲得が見込める。さらに2020年東京オリンピックなどビッグイベントに向けて顧客開拓を広げていく。

②当社営業社員が会員の日本販路コーディネーター協会に向けて商品ブラッシュアップの際に必ず行われるパッケージの見直しに向け、箔押し対応のラベル・パッケージの試作および小ロット制作システムによる提案を行っていく。

③文星芸術大学との産学連携での共同開発を行い、フードバレーとちぎ推進協議会へ向けての「学生が考えた新しいパッケージ提案」の発表を行う。実務を経験することで学生に「仕事のやりがい」を

感じてもらい、地元企業に学生のアイデアをPRすることで将来的な雇用機会の創出につなげていく。

④県北で3万部発行しているフリーペーパー「アドタウン」との連携により那須地域の商品のパッケージを提案し、商品のブラッシュアップを図る。また、フリーペーパー誌の社長が元JALのCAであることから、JALへの商品の周知及び販路開拓を進め海外戦略を推進する。

DATA

有限会社吉成印刷

所在地 ■ 〒321-0604 栃木県那須烏山市中山44-1

T E L ■ 0287-82-2688

F A X ■ 028-782-2672

U R L ■ <http://www.yoshinari-info.com/>

E-mail ■ yoshinari@jasmine.ocn.ne.jp

代表者名 ■ 代表 渡辺 大明

設立年 ■ 1958年

資本金額 ■ 1,000万円

従業員数 ■ 8名

事業内容

■ 企画・デザイン・カラー印刷・製本・出版

■ シール・ステッカー・コンピューター伝票・ホームページ・ノベルティ・看板